

今期の在庫状況 ※製造業、卸売・小売業

	不足	適正	過大	該当なし
全体	3 4.5%	43 65.2%	16 24.2%	4 6.1%
製造業	0 0.0%	12 60.0%	5 25.0%	3 15.0%
卸売・小売業	3 6.5%	31 67.4%	11 23.9%	1 2.2%

上段:社数
下段:割合(%)

製造業および卸売・小売業を対象に今期の在庫状況について調査したところ、「不足」と答えた企業は3社(7~9月期:7社)、「適正」と答えた企業は43社(同:53社)、「過大」と答えた企業は16社(同:10社)、「該当なし」と答えた企業は4社(同3社)であった。

建築確認申請件数

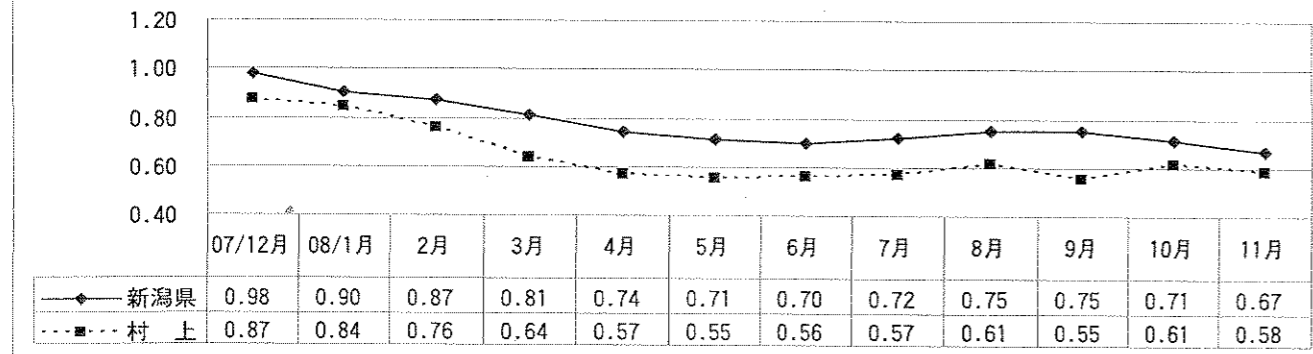
(08年3月までは旧市町村毎の集計)

	08年/1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計
村上地区	5	11	24	11	11	13	3	7	10	13	8	17	133
荒川地区	1	9	4	12	11	5	3	6	12	9	8	1	81
神林地区	0	2	9	3	3	5	2	3	3	5	2	1	38
朝日地区	1	0	1	5	4	7	1	0	1	2	0	1	23
山北地区	3	4	4	1	0	4	0	0	1	2	0	1	20
合計	10	26	42	32	29	34	9	16	27	31	18	21	295

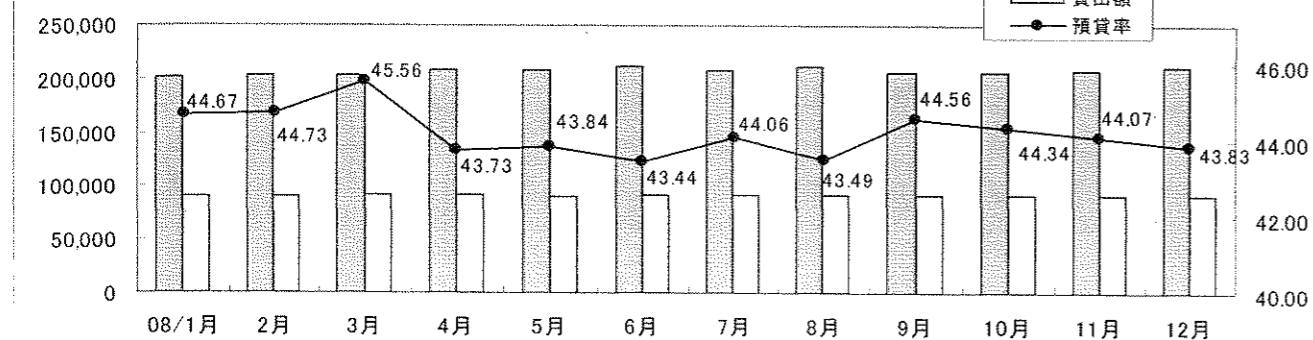
※旧村上市 2007年の建築確認申請件数

	07/1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計
村上地区	4	14	26	13	17	24	6	11	9	18	11	7	160

村上職安管内有効求人倍率(パート除く常用)



村上市・岩船郡内金融機関預貸状況



村上市景況調査報告

平成20年10~12月期の実績と平成21年1~3月期の見通し

調査時期:2008年12月中旬~2009年1月上旬

調査対象:村上市内事業所 200社 有効回答数 158社(回収率79.0%)

〔業種別内訳〕 卸売・小売業64社、建設業41社、製造業28社、飲食店・宿泊業20社、サービス業47社
〔地区別内訳〕 村上地区103社、荒川地区33社、神林地区21社、朝日地区20社、山北地区23社

実施機関:村上市産業観光部商工観光課
村上商工会議所、荒川商工会、神林商工会、朝日商工会、山北商工会

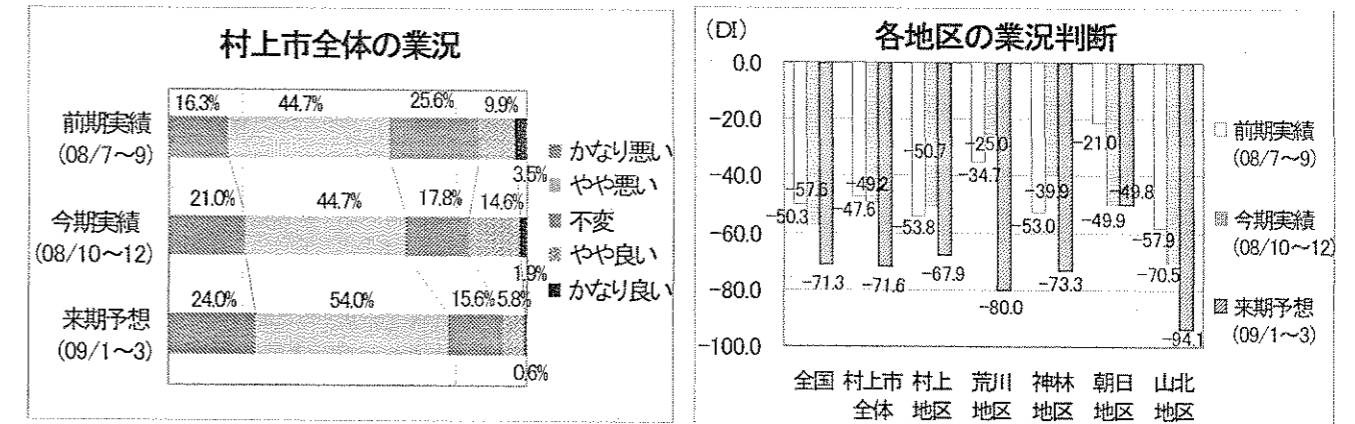
分析機関:村上商工会議所

全国状況:日本政策金融公庫調査 全国小企業動向調査結果(08.10~12実績、09.1~3見通し)

DI = 「良い」企業割合 - 「悪い」企業割合(売上高などの実数値の上昇率を示すものではなく、強気・弱気などの景気感の相対的な広がり意味着。)

『景況は急速に厳しさを増している』

■村上市の業況

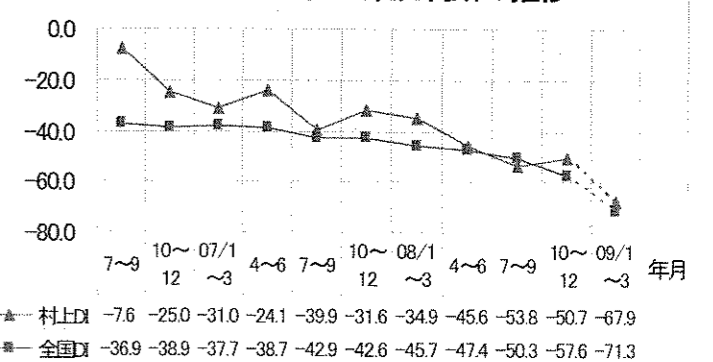


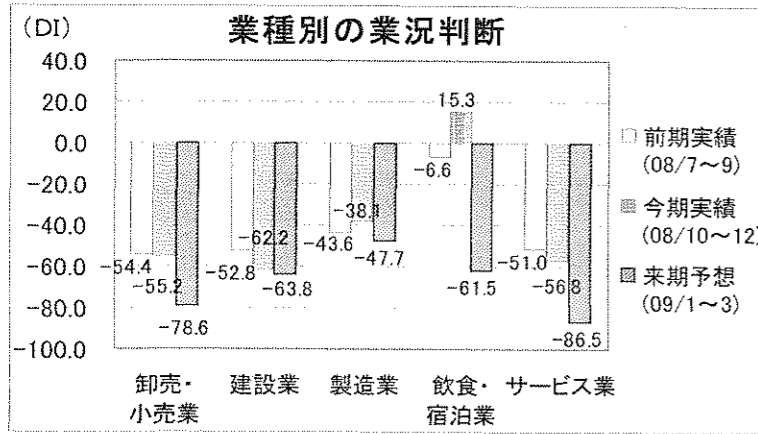
今期(10~12月期)の業況判断DI(全業種計)は、▲49.2(7~9月期:▲47.6)となり、前期よりマイナス幅が拡大した。なお、前回調査における10~12月期の見通しDI(▲51.0)より+1.8ポイントマイナス幅が縮小している。

全国DIは▲57.6(7~9月期:▲50.3)と、前期よりマイナス幅が拡大した。

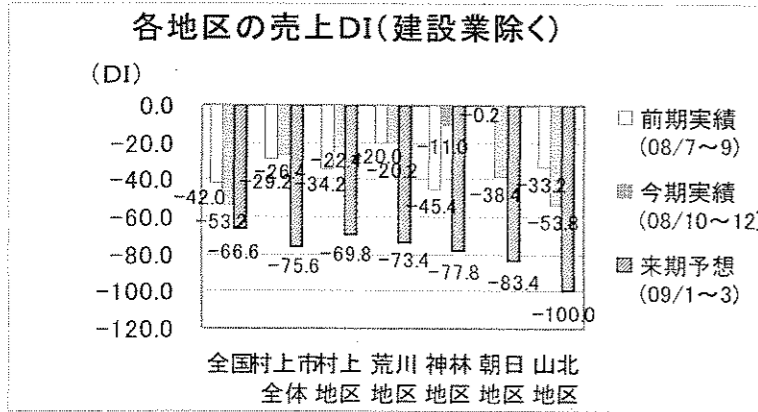
来期(1~3月期)見通しDIは▲71.6で、景気後退による消費低迷・売上不振・利益減少等の理由から、今期の業況判断DIよりマイナス幅が拡大する見込みである。

(参考) 村上地区の業況判断の推移

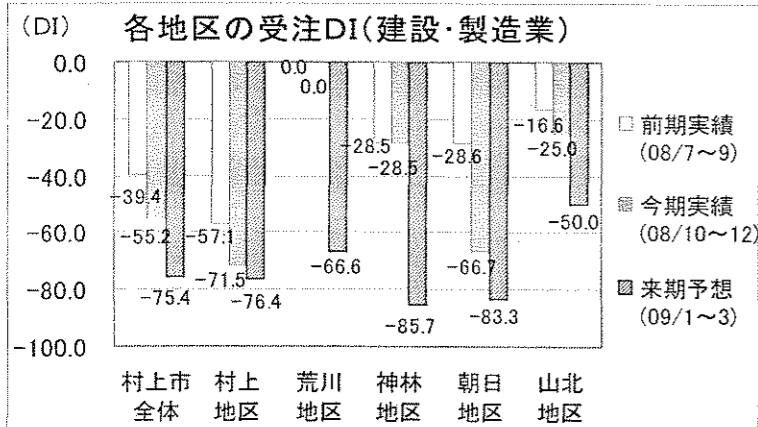




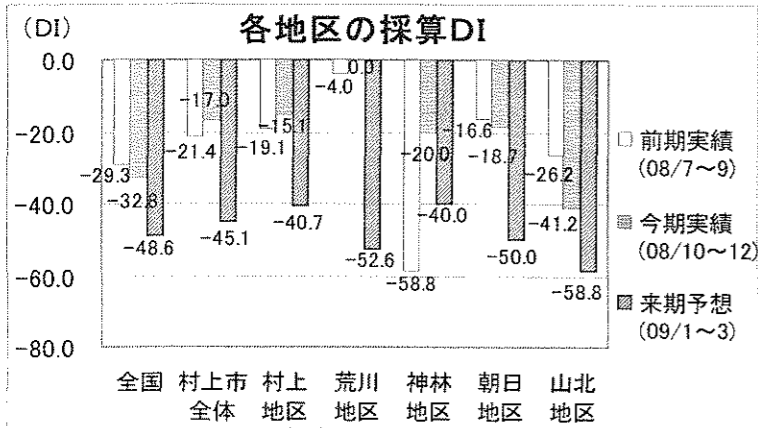
今期の業種別業況判断DIは、飲食・宿泊業が15.3(7~9月期:▲6.6)となり、マイナスからプラスに転じた。これは比較的暖かな天候が続いたことや、観光客向けの売上が増加したことなどが要因と思われる。製造業でも前期よりマイナス幅が縮小したが、卸売・小売業、建設業、サービス業ではマイナス幅が拡大した。
来期DIは、全業種でマイナス幅が拡大する見通しで、飲食・宿泊業の来期DIはプラスからマイナスに転じる見通しとなっている。



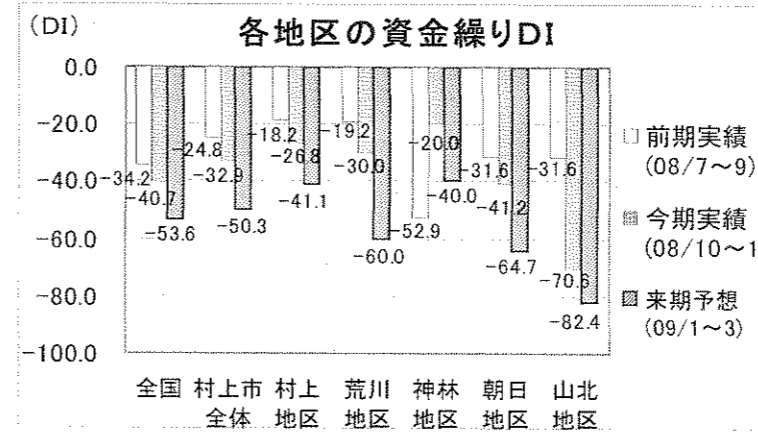
今期の売上DI(全業種計)は、▲26.4(7~9月期:▲29.2)と、前期よりマイナス幅が縮小し、全国DI(▲53.2)と比べてマイナス幅が小さくなっている。
来期DIは▲75.6で、今期DIより▲49.2ポイントマイナス幅が拡大する見通しであり、全地区でマイナス幅が拡大する見通しである。



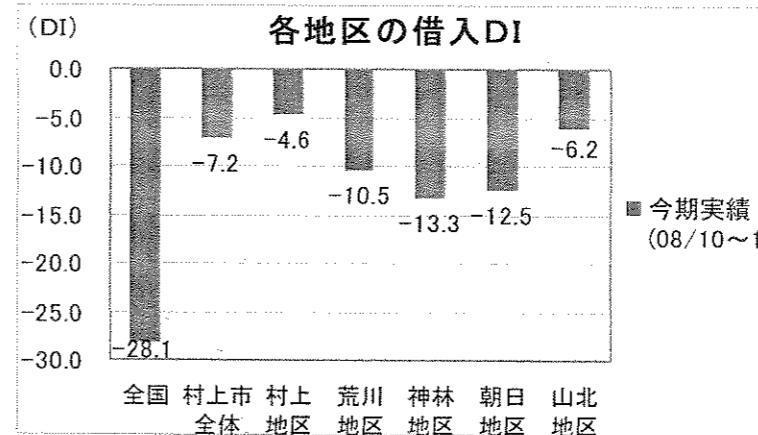
今期の受注DI(全業種計)は、▲55.2(7~9月期:▲39.4)で、前期よりマイナス幅が拡大した。
来期DIは今期DIより更に20.2ポイントマイナス幅が拡大し、▲75.4となる見通しであり、全地区でマイナス幅が拡大する見通しである。



今期の採算DI(全業種計)は、▲17.0(7~9月期:▲21.4)で前期よりマイナス幅が縮小し、全国DI(▲32.8)と比べてマイナス幅が小さくなっている。
来期DIは▲45.1で、今期DIより▲28.1ポイントマイナス幅が拡大する見通しで、全地区でマイナス幅が拡大する見通しである。



今期の資金繰りDI(全業種計)は、▲32.9(7~9月期:▲24.8)で、前期よりマイナス幅が拡大した。
来期DIは▲50.3で、今期DIより▲17.4ポイントマイナス幅が拡大する見通しであり、全地区でマイナス幅が拡大する見通しである。



今期の借入状況が「容易」と答えた企業は3.9%(7~9月期:2.4%)、「困難」と答えた企業は11.1%(同:11.2%)であった。
借入DI(全業種計)は、▲7.2(7~9月期:▲8.8)で、前期よりマイナス幅が縮小し、全国DI(▲28.1)と比べてマイナス幅が小さくなっている。

各地区の設備投資実施企業数

	全体	村上	荒川	神林	朝日	山北
前期実績 (08/7~9)	30	16	5	4	2	3
今期実績 (08/10~12)	23	14	1	5	1	2
来期予定 (09/1~3)	9	6	0	2	1	0

今期、設備投資した企業は23社で、前期より7社減少した。
来期に設備投資を予定している企業は9社で、今期実績に比べ14社減少する見通しである。

経営上の問題点

	単位:%		
	1位	2位	3位
全体	売上の不振 59.6	利益の減少 27.8	設備の老朽化 3.8
村上	売上の不振 60.2	利益の減少 27.3	設備の老朽化 4.5
荒川	売上の不振 70.0	利益の減少 20.0	設備の老朽化 求人難 5.0
神林	売上の不振 53.3	利益の減少 46.7	-
朝日	売上の不振 55.6	利益の減少 22.2	設備の老朽化、 借入難、その他、 問題なし 5.6
山北	売上の不振 52.9	利益の減少 23.5	求人難 11.8

経営上の問題点を見ると、第1位が「売上の不振」、第2位が「利益の減少」、第3位が「設備の老朽化」となり、前回調査の時と同じ順位になった。
全国状況における経営上の問題点でも、第1位が売上減少(60.8%)、第2位が利益減少(22.3%)、第3位が設備老朽化(3.8%)となっている。